## OO vol.6 フィルムになった。集

演技派俳優とともに存在感を 「岩木山」

大規模ロケで夏のシーンを盛り上げた「ねぷたまつり」

を示した 立り上げた ・ 本り上げた ・ 本幹富士 「岩木山」とりんごの花

映画「奇跡のリンゴ」は、1975年(約40年前)の弘前が舞台。りんご農家の木村秋則は、妻・美栄子の身体を心配して、絶対に不可能だと言われていた無農薬でりんごを栽培することに挑戦する。しかし、うまくいったのは最初の3ケ月だけだった。数え切れない失敗を重ね、周囲の反対にあい、妻や3人の娘たちも十分な食事にありつけない極貧の生活を強いられる日々。それでも挑戦を続ける彼をいつも支えてくれたのは、家族だった。11年にわたる想像を絶する苦闘と絶望の果てに、常識を覆す、ある"真実"を発見する。実話をベースに描かれた、奇跡を成し遂げた家族の波瀾万丈の感動の物語。

映画ロケは2012年4月下旬から始まり、約2ケ月間にわたり弘前市内を中心に行われ、エキストラ出演等、延べ約900人の市民ボランティアにご協力をいただいた。この映画に登場した代表的なロケ地とまつりをフィルムコミッション視点で紹介する。

まずはロケ地。なんと言っても弘前市のランドマーク「津軽富士・岩木山」である。この映画では、物語の背景に常に岩木山があり、春夏秋冬、朝昼夕の様々な表情の岩木山が、20回ほどスクリーンに映し出される。岩木山とりんご畑を一望する丘「独孤の森公園」でのプロポーズ。挑戦の物語は、ここから始まる。周囲に反対され、家族に極貧の生活を強いられても、挑戦を諦めない主人公の姿は、いつもこの山に見守られている。自殺を決意した主人公は、岩木山に向かう。山中で無農薬栽培の決定的なヒントをつかんだ時、「なして、今まで教えでけながったのさ!」と岩木山に向かって叫ぶ。演技派の出演者たちと肩を並べる圧倒的な存在感が、この山にはある。

続いて、弘前の夏の風物詩「ねぷたまつり」。映画では、まつりを楽しむ妻と娘たちの横でうつむきがちな主人公。思うような結果が出ない状況に自暴自棄になっている様子をロケ。そして自殺を決意した岩木山中でも、街からねぷた囃子が聴こえている。

ねぷたロケは、通 常8月上旬に行われ るまつりを5月下旬に 再現。夕暮れの午後 7時頃から約6時間 にわたり、道路を交 通封鎖して行われ、



夏の夜に幻想的な武者絵が浮かび上がる

製作スタッフに加え、ねぶた団体2チームと観客役エキストラ合せて約800名の大規模ロケを敢行した。ねぶたまつりは、この他、映画「星守る犬」や韓国ドラマ「優しい男」等、様々な作品で撮影されている。

是非とも映画をご覧いただき、次はロケ地をめぐる「弘前 の旅」にお出かけください!

(執筆/弘前FC実行委員長 白戸大吾)



韓国ドラマ「優しい男」のねぷたまつりの一場面

◆映画 「奇跡のリンゴ」 2013年6月公開 監督:中村義洋

出演: 阿部サダヲ、 菅野美穂、 山﨑努ほか

◆映画「星守る犬」 2011年6月公開

監督:瀧本智行

出演:西田敏行、玉山鉄二、川島海荷ほか

◆韓国ドラマ「優しい男」2012年放送

■ 監督: キム・ジンウォン

出演:ソン・ジュンギ、ムン・チェウォンほか